

様式第 2 号－ 1

飼料穀物備蓄・流通合理化事業 飼料流通合理化対策のうち

飼料輸送安定化推進事業 実施計画書

1 補助事業者の概要

名 称	
所在地	
代表者	

2 事業の目的

(現状、課題及び取組実施の有効性等について記載)

3 令和○年度 事業内容

(1) 検討会の開催

検討会名	開催時期 及び回数	参集範囲	目的と内容	備 考

(2) 調査の実施

調査名	開催時期	調査範囲及び調査地域	目的と内容	備 考

(3) 普及・周知に関する取組

開催時期及び回数	対象者	目的と内容	備 考

4 事業の成果目標

成果目標	
効果の検証方法	

注「成果目標」は具体的な指標をもとに記載すること。

5 事業費（積算）

事業内容	事業量	単価	事業費		備 考
				国庫補助金	その他
(1) 検討会の開催 (2) 調査の実施 (3) 普及・周知に関する取組		円	円	円	円
合 計			円	円	円

※ 該当する事業以外は空欄で可

6 添付資料

- ・畜産局長が必要と認める資料

様式第2号－2

飼料穀物備蓄・流通合理化事業 飼料流通合理化対策のうち

飼料輸送効率化等支援事業 実施計画書

1 補助事業者の概要

協議会名等	
事務局（所在地）	
（代表者）	

2 事業の目的

現状と課題	
取組実施内容と期待される効果	

3 総括表

取組内容	事業費			備考
		補助金	自己負担等	
（１）検討会の開催や成果普及に関する取組	円	円	円	
小計				
（２）飼料輸送の効率化・標準化に資する実証の取組	円	円	円	
小計				

合 計	円	円	円	
-----	---	---	---	--

注 (1) の取組について、自己負担で実施する場合においても、事業費を積算し、記載すること。

4 事業実施体制等

協議会名		
構成員（団体名）	代表者の所属部署、役職及び氏名	事業内容又は事業に係る役割

注1 「事業内容又は事業手続きに係る役割」には、協議会事務局がどこであるか明確に記載すること。

注2 添付書類として、協議会規約等を添付すること。

実証成果の活用方法
（協議会として、実証成果の今後の活用方法を記載する）

5 令和○年度 事業内容

(1) 検討会の開催や成果普及に関する取組

検討会名	開催時期 及び回数	参集範囲	目的と内容	備 考

(2) 飼料輸送の効率化・標準化に資する実証の取組

本事業における取組及び検証内容	導入機器・設備等の 規格・型式等	回数 数量	単価	備考
○○の実証 ・○○○				

注1 「取組内容」には実証概要と具体的に導入する物品や実証ルート等を記載

注2 「単価」の証拠書類を添付するとともに、その資料番号などを備考に記載（例：見積書①）

注3 機器・設備の導入や設置を行う場合には、その稼働や使用計画について、備考欄に記載。

6 成果目標及び目標年度

成果目標	指標設定の考え方 及び効果の検証方法	取組前 (①)	目標値 (②)	割合 (%) (②/①-1) × 100
		令和○年度 (基準年度)	令和○年度 (目標年度)	
効率化等に関する目標 ・				
温室効果削減に関する目標 ・				

注1 「取組前」「目標値」が分からない場合は、「成果目標」及び「指標設定の考え方及び検証方法」のみの記載でもよいが、交付申請時までには必ず具体的に記載できるようにすること。

注2 「取組前」の値については、比較対象として適切な直近の年度を引用すること。または、複数年度の平均値を用いることも可能。

注3 取組前と比較し、10%削減が実現するような目標を立てること。

7 事業費（積算）

事業内容	事業量	単価	事業費			備 考
			国庫補助金	その他		
(1) 検討会の開催や 成果普及に関する 取組 (2) 飼料輸送の効率 化・標準化に資する 実証の取組		円	円	円	円	
合 計			円	円	円	

注 (1) の取組について、自己負担で実施する場合においても、事業費を積算し、記載すること。

8 全体事業計画

年 度	目的及び検証内容	取組内容	事業費（千円）	備考
令和○年度 (実証1年目)				
令和○年度 (実証2年目)				
令和○年度 (実証3年目)				
	合 計			

注1 複数年にわたる取組を予定している場合は記載すること。ただし、補助金等を確約するものではない。

注2 実証実施は3年以内で記載し、過年度においても実証を実施した場合は、概要を記載。

注3 「目的」は複数年実証を実施し、最終的に達成すべき年度計画における目標を記載するとともに、その目標に向けて当該年度に実施する実証の目的を記載。

9 配合飼料価格安定制度の加入状況確認

配合飼料価格安定制度の加入状況の確認を行った場合はチェック ✓ を入れる。

☐

10 添付書類

- ・ 協議会構成員名簿、協議会規約
- ・ 見積書等単価の根拠書類
- ・ その他畜産局長が必要と認める資料

様式第 2 号－ 3

飼料穀物備蓄・流通合理化事業 飼料流通合理化対策のうち

粗飼料広域流通体制確立事業 実施計画書

1 補助事業者の概要

名 称	
所在地	
代表者	

2 事業の目的

現状と課題	
取組実施内容と期待される効果	

3 総括表

取組内容	事業費			備考
		補助金	自己負担等	
(1) 検討会の開催や成果普及に関する取組	円	円	円	
小計				
(2) 県域を越えた粗飼料の広域流通の実証	円	円	円	
小計				

合 計	円	円	円	
-----	---	---	---	--

注 (1) の取組について、自己負担で実施する場合においても、事業費を積算し、記載すること。

4 令和○年度 事業内容

(1) 検討会の開催や成果普及に関する取組

事業内容	開催時期 及び回数	参集範囲	目的と内容	備 考

(2) 県域を越えた粗飼料の広域流通の実証

現状の流通方法

本事業で実施する取組内容	回数・数量	単価	備考

注1 機器・設備の導入並びに整備及びリース等を行う場合には、その稼働や使用計画について、備考欄に記載すること。

注2 「本事業で実施する取組内容」には、輸送に関する回数、ルート、車両などを具体的に検討し、記載すること

5 成果目標及び目標年度

成果目標	指標設定の考え方 及び効果の検証方法	取組前 (①)	目標値 (②)	割合 (%) (②/①×100)
		令和○年度 (基準年度)	令和○年度 (目標年度)	
実証にかかる国産粗 飼料取扱数量 ・ ・ ○○における国産粗 飼料の利用割合	(国産粗飼料使用数量) / (○○における総粗飼料使用量)			

・	×100			
・	を算出し、目標年度と基準年度を比較する。			

注1 「成果目標」の欄の「国産粗飼料の利用」は、粗飼料を利用する畜産農家や販売する小売業者等における数量について把握することとし、〇〇にはその範囲を記載する。

注2 「取組前」の値については、比較対象として適切な直近の年度を引用すること。または、複数年度の平均値を用いることも可能。

注3 「取組前」「目標値」が分からない場合は、「成果目標」及び「指標設定の考え方及び検証方法」のみの記載でもよいが、交付申請時までには必ず具体的に記載できるようにデータ収集すること。

注4 「目標値」は10%以上向上する目標とすること

6 全体事業計画

年 度	目 的	取組内容及び検証項目	事業費（千円）	備 考
令和〇年度 (実証1年目)				
令和〇年度 (実証2年目)				
令和〇年度 (実証3年目)				
	合 計			

注1 複数年にわたる取組を予定している場合は記載すること。ただし、補助金等を確認するものではない。

注2 実証実施は3年以内で記載し、過年度においても実証を実施した場合は、概要を記載。

注3 「目的」は複数年度実証を実施し、最終的に達成すべき年度計画における目標を記載するとともに、その目標に向けて当該年度に実施する実証の目的を記載。

7 配合飼料価格安定制度の加入状況確認

配合飼料価格安定制度の加入状況の確認を行った場合はチェック✓を入れる。

☐

8 添付書類

- ・（協議会の場合は）協議会構成員名簿、協議会規約
- ・見積書等単価の根拠書類
- ・その他畜産局長が必要と認める資料